2024.9 改訂

情　報　公　開　文　書

研究の名称	病理検査の精度維持・向上を目的とした組織細胞学的検討
整理番号	
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者 （所属・氏名）	富山大学附属病院病理診断科（富山大学学術研究部医学系病理診断学講座）・ 平林 健一
研究の概要	【研究対象者】 1991 年 1 月 1 日～2025 年 3 月 31 日の間に、富山大学附属病院にて採取された既存の病理組織および細胞診検体で、精度管理の向上・維持に寄与するものを対象とします。 【研究の目的・意義】 本研究は、病理組織・細胞診検査において、検査結果へ影響する様々な要因を明らかにするために実施し、採取された検体の妥当性確認、検査結果と臨床像との不一致を検証することにより、さらなる検査の精度向上を図ることを目的とします。また、本研究の実施により、外部機関から求められるより精度の高い検査の実施が可能となり、断続的な研究により当病理部の精度管理意識を高め、より高い精度を有する検査システムの確立を目指します。 【研究の方法】 後ろ向き観察研究：既存のカルテ記載資料からの情報収集、および既存の細胞診・病理組織検体を用い、組織学・細胞学的な特徴を顕微鏡下で再検討します。症例によっては、免疫組織化学や PCR や FISH 等の分子病理学的評価を追加検討します。 【研究期間】 　実施許可日　～　2030 年 3 月 31 日 【利益相反の状況】 本研究の実施には，本研究の実施には，病理診断学および病態病理学講座の医局・講座費および科学研究費、病理部の配算費を使用します。本研究に関係する企業等との間に利益相反はありません。 【研究結果の公表の方法】 患者さんの情報は、個人を特定できる情報とは切り離した上で使用します。研究成果は学会発表や学術雑誌で報告されますが、患者さん個人を特定できる個人情報は含みません。
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法（他機関への提供の有無）	カルテ情報（病理診断名、年齢、性別、身体所見、既往歴、家族歴、血液検査結果、画像検査データ等）と病理組織・細胞診標本を使用する研究で、新たな検査や費用が生じることはありません。他機関への情報や資料の提供はありません。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び機関の長の職名・氏名	富山大学附属病院　病院長　山本善裕

研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究代表機関における研究責任者の所属・氏名）	富山大学附属病院病理診断科・病理部 富山大学学術研究部医学系病理診断学講座 平林　健一
研究対象者等（研究対象者および親族等関係者）からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話　076-434-7236 FAX　076-434-5050 E-mail　hiraken@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 富山大学附属病院病理診断科・病理部 富山大学学術研究部医学系病理診断学講座 平林健一